



愛知県立東浦高等学校

はなのきタイムズ
平成28年度 春号

第1志望者が募集定員を上回る厳しい入学試験を突破した新入生200名を向かえ、新しい年度がスタートしました。“**生徒の成長を第1に考える学校、東浦高校**”は今年も飛躍し続けます。

〈校長あいさつ〉

東浦高校はどんどん良くなっています。学校が良くなるとは、生徒諸君が良くなることです。部活動にも打ち込み、学習環境にも恵まれた本校で、あなたの夢を実現しませんか。

昭和51年 東浦高校卒業
校長 伊藤和宏



東京藝術大学、法政大学 合格！

今春本校は189名の卒業生を送り出しました。卒業生の進路は、幅広い進路に対応した指導の結果、四大から就職まで多方面にわたっています。なかでも今年は、国立の東京藝術大学、東京六大学のひとつ法政大学や大阪芸術大学に合格した卒業生もおり、今後の活躍が期待されます。



中庭の八重桜

法政大学 キャリデザイ学部 キャリデザイ学科

私は、入学当初高校卒業後の進路を全く決めていませんでした。そんな中、野球部に入部し、中嶋先生と出会い、野球を通じてあきらめない精神力を身につけ、難関といわれる大学に挑戦することを決めました。

一般入試で合格するのは、自分ひとりの闘いではなく、家族・友達・先生の支えがあってこそ成せることです。そのための環境が東浦高校にはあります。

(石松木実 東浦中学校)



半田・常滑看護専門学校

私は入学当時から看護学校に進学したいという目標がありました。そこで、とにかく3年間上位の成績を取り続けることと、欠席をしないようにすることを努力しました。

志望校を決めてからは、先生方も熱心に情報収集に協力してくださったり、授業や補習以外でも勉強を教えてくださいました。

半田・常滑看護専門学校に合格できたのは、3年間積み重ねてきた努力と、支えてくださった先生方、家族のおかげと思っています。
(辻元渚紗 東浦中学校)



東京藝術大学 音楽学部 邦楽 能楽



僕には小さい頃から夢がありました。それは能楽師になることです。そのためには必ず東京藝術大学に入らなければなりません。東浦高校では、特別進学類型で3年間勉強を頑張りました。元々勉強が苦手でも全然出来なかったけれど、先生方が優しく丁寧に教えて下さりとてもわかりやすく、楽しく勉強することができました。大学に進学したい人には本当に良い環境だと思います。おかげで第一志望の大学に合格することができました。皆さん、ぜひ東浦高校で夢を叶えてください。



(小林 陸 知多中部中学校)

野球部 2年連続 知多地区優勝!

春休み中に開催された第66回愛知県高等学校優勝野球大会知多地区予選で、本校野球部が決勝戦で半田工業高校を10-2で破り、昨年に引き続き優勝しました。新2・3年生の日々の努力が実を結び、これで県大会へは4期連続の出場となりました。新たに1年生19名が加わり、夏の大会に向けてベンチ入りを懸けた努力が始まりました。今後の更なる活躍が期待されます。



2年 尾崎君 亀崎中



3年 白井君 阿久比中



～田中彰馬(3年生 乙川中学校)、FUJI XEROX SUPER CUP 2016 出場～

本校3年生で名古屋グランパスに所属する田中彰馬が、2月20日(土)に開催されたFUJI XEROX SUPER CUP 2016に先立って行われたNEXT GENERATION MATCHのJリーグ選抜に選出され、日本高校選抜との試合にFWとして先発出場しました。また、今年度からグランパスのトップチームに登録されたことで、Jリーグのリーグ戦や公式戦となる各種大会への出場が可能となりました。今後の活躍に注目です!!

<NEXT GENERATION MATCH まえのインタビューより>

この試合にかける意気込みと自分のアピールポイント

沢山の人が見に来てくださるので、しっかり自分のプレーをして、魅了したい。アピールポイントはドリブルで相手をかかわりからのパスやシュート。

高校のチームと試合をして感じる事

球際が強く、タフな選手が多い。

サッカー以外での自分自身の自慢や特技

ペンドラムが得意。

今シーズンの目標

タイトルをとって、トップ昇格する。

5年後の目標

プロになって日本代表で活躍する。



平成28年1月24日(日)
「中日スポーツ」より

FUJI XEROX SUPER CUP 2016 HPより

～地域とつながる東浦高校～

本校では、町内の色々な行事に参加しています。これは年度末に開かれた、東浦町長主催「自治を考えるワークショップ」に参加し、町内の方々との意見交換をしている、東浦中学校出身新2年の左が荻本さん、右が金山君。

